

令和8年度 新見公立大学ウェブサイトリニューアル及び運用・保守業務仕様書

1. 目的・背景

本仕様書は、新見公立大学公式ウェブサイトのリニューアルに係る公募型プロポーザル実施にあたり、事業者から技術提案および見積を受けるための基本要件を示すものである。本学ウェブサイトは、受験生・在学生・卒業生及びその保護者、教職員並びに地域住民及び関係機関等に対する重要な情報発信基盤であり、以下の改善を目指す。

- ・情報の分かりやすさの向上
- ・更新性・運用効率の向上
- ・保守性・安定性の確保

これらを踏まえ、CMSを活用した持続可能な運用体制の構築を目的とする。

2. ウェブサイトの想定利用者

本サイトの主な利用者は、受験生・在学生・卒業生及びその保護者、教職員並びに地域住民及び関係機関等とする。特に受験生及びその保護者にとっては、志望校選択や受験準備における重要な情報源であることから、スマートフォン等のモバイル端末による閲覧を前提とし、直感的で分かりやすい情報提供を重視する。

3. 基本方針及び全体構成

本サイトは、大学の理念・教育方針・特色を的確に伝えるコーポレートサイトとして位置付け、学校ブランディングの中核となる情報発信基盤として再構築する。受験生、在学生、保護者、卒業生、教職員など多様なステークホルダーが、それぞれの目的に応じて必要な情報へ円滑に到達できるよう、情報構造（IA）およびUI/UXを重視した設計とする。また検索エンジン最適化（SEO）に配慮した設計とし、適切に検索結果へ表示されるようにすること。

本サイトはCMSを用いて構築し、専門的な知識を有しない教職員であっても、日常的な情報更新が可能な構成とする。PC、タブレット、スマートフォン等の各種端末に対応したレスポンシブデザインを採用し、アクセシビリティにも配慮する。また、将来的な機能拡張や改修を見据え、保守性・拡張性に配慮した設計とする。

なお、本サイトの運用にあたっては、オンプレミス（学内設置）のサーバーは使用せず、外部ホスティング環境を利用することを前提とする。外部ホスティング環境は事業者管理とし、サーバーの設置場所は国内であることを要件とする。また、システム障害やトラブル発生時の一次対応主体は事業者とし、大学への連絡・報告体制を明確にすること。

4. 業務内容

(1) 業務名

新見公立大学ウェブサイトの構築及びデータ移行、運用、保守点検業務

(2) 業務内容

本業務は、令和9年4月より運用可能なウェブサイトの設計、構築、データ移行、運用支援及び保守を含む一連の業務とする。受注者は、現行サイトの課題を十分に把握した上で、最適なシステム構成及びサービス内容を設計し提案するものとする。

また、本業務に必要な機器、ソフトウェア及び各種機能の調達並びに設定を行うとともに、必要に応じて既存設備の設定変更を実施するものとする。さらに、提案内容によっては、システム稼働に必要なネットワーク工事、電気工事等の付帯工事についても本業務に含めて実施することとする。

5. システム及び機能要件

本システムはクラウドサービスを利用して構築するものとし、HTML や CSS 等の専門知識を有しない教職員であっても容易に操作できるユーザビリティを確保することとする。

CMS を導入し、ページの作成、編集、公開及び非公開、公開日や公開期限の管理がブラウザ上で直感的に行えるようにすること。また、ニュースやお知らせ等の更新頻度の高いコンテンツについては、テンプレート化された入力画面を提供するものとする。さらに、作成済みページの複製機能や、スマートフォン対応ページの自動生成機能を備えることとする。

権限管理機能については、学科や部署単位でアカウントを発行し、管理者、編集者、承認者等の役割を設定できるようにすること。また承認制のワークフローを構築し、編集内容は承認者の確認を経て公開される仕組みとする。その承認制のワークフローにおいて、編集者の部門に属する学科もしくは部署の承認者および管理者に、確認のメールが届くようにすること。この際、自身の学科もしくは部署内の編集の承認に関するメールであることが望ましい。加えて、操作履歴及び公開履歴の管理機能を備えることとする。また1年分の更新ログが画面上で閲覧できること。なお、それ以前の操作ログは、別途、格納されており必要に応じて閲覧ができること。

コンテンツ機能としては、主要ページの英語対応を可能とするとともに、SNS との連携機能を備えること。また、合格発表等のアクセス集中時にも安定した稼働が可能な性能を有することとする。通信についてはHTTPS による暗号化通信を採用し、SSL 証明書を適切に管理するものとする。

さらに管理機能として、指定した期間（年月日、時間帯）でアクセス解析ができること。

データ移行については、現行ウェブサーバーに保存されているデータを新システムへ移

行するものとし、移行範囲及び方法については本学と協議の上決定することとする。

6. バックアップ及びセキュリティ

本システムにおいては、日次、週次及び月次のバックアップを取得するものとし、更新データについては差分又は増分バックアップを適用することとする。障害発生時には、バックアップデータを用いて迅速に復旧できる体制を整備すること。

また、本学の情報セキュリティ基本方針及び対策基準を遵守し、不正アクセス防止や情報漏えい対策等、必要なセキュリティ対策を講じるものとする。

7. インフラ及び設置

システムはクラウド環境で運用するものとするが、必要に応じて既存システムとの連携を行うための設定変更を実施すること。これに伴う既存業者との調整及び費用については、本業務に含めるものとする。

また、システムの稼働に必要な LAN 配線、電源設備等の付帯工事があれば、受注者の責任において実施することとする。

8. 運用及び保守

受注者は、本サイトの稼働状況を常時監視し、障害を自ら検知できる体制を整備する。障害は、受注者の監視による検知、又は本学からの連絡のいずれの場合においても、速やかに対応を開始するものとする。対応を開始するまでの時間は、障害の程度に応じて次のとおりとする。

ア) サイト全体の停止等、重大な障害：覚知後 1 時間以内

イ) 一部機能の不具合等、軽微な障害：覚知後翌営業日中

特に、入学者選抜の合格発表等、アクセスが集中し障害の影響が大きい時期については、対応体制及び対応開始時間を別途定めるものとする。

受注者は、障害の覚知後、速やかに本学へ第一報を行い、原因、復旧の見込み及び復旧完了について報告する。

保守体制としては、専門知識を有する技術者を配置し、迅速な対応が可能な体制を整備すること。また、メーカー又はメーカー認定業者によるサポートを受けられる体制を確保することとする。

障害対応においては、必要に応じてハードウェア保守業者及びソフトウェア業者との連携を図り、復旧後にはバックアップデータを用いたデータ復元を実施することとする。

9. 研修

受注者は、本システムの円滑な運用を目的として、教職員を対象とした操作研修を実施するものとし、原則として年 1 回を上限とする。実施方法については、対面又はリモート

のいずれかとし、本学と協議の上決定する。

10. 成果物

受注者は、本業務の成果物として、設計書、テスト報告書、運用マニュアル等のドキュメント一式を作成し、電子データ及び印刷物にて納品すること。

11. 権利及び法令遵守

本業務の履行により作成された成果物に関する権利は、すべて新見公立大学に帰属するものとする。

また、受注者は業務の履行にあたり個人情報適切に管理し、漏えい、滅失及び毀損の防止に必要な措置を講じることとする。さらに、業務上知り得た情報を第三者に開示してはならず、この義務は契約終了後も継続するものとする。

12. 納入スケジュール

納入スケジュールについては別添のとおりとする。ただし、具体的な工程及び作業日程については、受注者は、契約後に作業スケジュールを提出し、本学と協議の上で作業日程を決定するものとする。

13. 評価基準について

評価基準については、技術提案内容、実施体制、実績、価格等を総合的に評価するものとする。

14. その他

本仕様書に記載のない事項又は疑義が生じた場合については、本学と受注者が協議の上決定するものとする。

また、機器仕様上必要な項目については、本仕様書に明記がない場合であっても、すべて本業務の費用に含めるものとする。

